



どれも全て無料です。お気軽にお問い合わせください。

資料請求

個別相談

施設見学

高住センター 検索



f 高住センター Facebook

インスタ

北河内地域中心（寝屋川市・枚方市・交野市・守口市・門真市・大東市・四條畷市）

高齢者住まいの相談センター



なごみ通信

第123号
2022年7月

セミナー報告です

6月23日に守口市の地域包括支援センター主催の介護予防教室で講師をしました。

テーマは、『老人ホームってどんなところ？知っておきたい施設のはなし』です。

私ども、『高住センター』では、年間500件ほどの相談を受けています。それらの相談は、大きく二つのパターンに分かれます。

一つは、身の回りのことは自分でできる方からの相談、もう一つは介護が必要な方からの相談です。それぞれ入居できるホームが違います。二つのパターンに応じたホームについてお話ししました。

まずは、知ることから…。

少しでも、お役に立てれば幸いです。



枚方信用金庫でセミナーをしました

枚方信用金庫さんが取り組まれている『巡リズム』の一環で、『老人ホームの探し方』セミナーをしました。職員の方が対象で、各支店から20名以上の参加がありました。

北河内地域での老人ホーム数の推移や各市のホーム種類の件数を見つつ、『老人ホームの探し方』について考えて頂きました。探し方として「高住センター」「市役所」「ケアマネ」「ネット」など様々な意見が…。

それぞれの探し方の特徴を実際に基づいてお話ししました。各職員さんが、お客様から相談を受けられた時の参考になればと思います。

『高住センター』は、このようなセミナーをご要望に応じて行っています。職場はもちろん自治会やご近所の集まりなど、出張ミニセミナーをさせて頂きます。お気軽にお声がけ下さい。



高齢者住まいの相談センター

「(こうじゅう)センター」 『Facebook』 『インスタ』 『まいぶれ』

(相松・大谷・寺西・小堀)



お気軽にご相談ください

ろうごは なごみ

0120-658-753

ますます増える「サ高住」

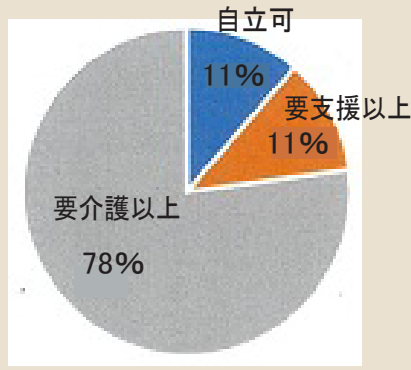
前々回のなごみ通信では、「サ高住の誤解」として、2つのお話をしました。

前回のなごみ通信では、「サ高住の基準」として、設備基準と人員基準のお話をしました。

(バックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。)

今回は、「サ高住の実例」として、「介護型サ高住」「医療型サ高住」「自立型サ高住」の三つの実例を紹介します。

北河内地域のサ高住の入居要件



● 実例1 ● 介護型サ高住

右のグラフからも、サ高住の3分の2は、介護型サ高住であることが分かります。

介護型サ高住の特徴は、入居要件が、「要介護1以上」であることです。中には、「要介護3以上」というサ高住もあります。訪問介護事業所が併設されており、昼夜を問わず介護サービスを提供されています。



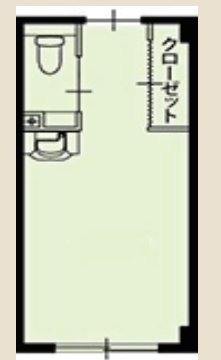
● 実例2 ● 医療型サ高住

介護型サ高住の中には、看護師24時間常駐のサ高住もあります。夜間も看護師さんがおられるので、夜間医療対応の必要な方も、安心です。



● 実例3 ● 自立型サ高住

サ高住全体のうち、10分の1が、介護認定のない自立の方も入居できる自立型サ高住です。自立型サ高住は、外出自由、食事の注文も自由で自炊も可、などの特徴があります。居室も、18㎡タイプと25㎡タイプがあり、居室内設備も間取り図のように色々です。



【18㎡タイプ】



【25㎡タイプ】

自立型サ高住の中には、訪問介護事業所が併設されていないホームや、夜間の定期巡回などないホームもあります。そのようなホームでも夜間は、宿直者がおられナースコール対応は可能なサ高住がほとんどです。



高齢者住宅をご紹介する中での気づきや感じたこと考えたことなどを綴っています。

高住センターフェイスブック

高齢者住まいの相談センター

「高住(こうじゅう)センター」(相松・大谷・寺西・小堀)
〒572-8505 大阪府寝屋川市大成町1番1号

高住センター 株式会社 前田組 株式会社 WJグループ

フリーダイヤルまでお気軽にお電話ください

ろうごは なごみ
 0120-658-753
FAX 072-824-1110